

地方独立行政法人新小山市市民病院

平成28事業年度の業務実績に関する評価結果

総合評価

平成29年8月

地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会

目 次

年度評価の方法

I	全体評価	1
II	大項目評価	
第1	住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	2
	(1) 評価結果と判断理由	
	(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等	
第2	業務運営の改善及び効率化に関する事項	5
	(1) 評価結果と判断理由	
	(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等	
第3	財務内容の改善に関する事項	6
	(1) 評価結果と判断理由	
	(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等	
第4	その他業務運営に関する重要事項	7
	(1) 評価結果と判断理由	
	(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等	
III	その他 全体的な意見	8

年度評価の方法

地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会（以下「評価委員会」という。）では、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条第1項の規定に基づき、平成25年4月1日に設立された地方独立行政法人新小山市市民病院（以下「法人」という。）の平成27事業年度に係る業務実績に関する評価を行った。

評価を行うにあたっては、「地方独立行政法人新小山市市民病院に対する評価の基本方針」並びに「地方独立行政法人新小山市市民病院の年度評価実施要領」（※いずれも平成25年10月2日評価委員会にて決定）に基づき、「項目別評価（小項目評価・大項目評価）」と「全体評価」により評価した。

具体的には、「項目別評価」では、年度計画に定めた事項ごとに法人による自己評価をもとに、ヒアリング等を通じて、自己評価の妥当性や年度計画に照らし合わせた進捗状況を確認した。また、「全体評価」では、項目別評価の結果等を踏まえつつ、法人化を契機とした病院改革の取組みなども考慮しながら、中期計画等の進捗状況について総合的な評価を行った。

I 全体評価

平成28事業年度の業務実績については、4つの大項目評価のうち、「第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」及び「第3 財務内容の改善に関する事項」についてはA評価（計画を上回って進んでいる）、「第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項」及び「第4 その他業務運営に関する重要事項」についてはB評価（計画どおり進んでいる）が妥当であると判断した。

この理由として、「第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」については、急性期を担う地域の中核病院として、年間約3,800人（対前年比363人増）の救急搬送患者の受入等、断らない救急医療の実現に努めたこと、また脳卒中専門医等の確保により県内で初めて「脳卒中ケアユニット（SCU）」を整備する等、診療体制の充実に努めたこと、さらにレディースドックの開始等、受診者のニーズに応じたドックの展開により受診者数が増加する等、健診機能の充実が図られたこと等により、医療サービスの向上に繋がったことが挙げられる。

また、地域医療支援病院としての役割を果たすべく、近隣13病院との間に「小山市近郊地域医療連携協議会」を発足させるとともに、「ポットラックカンファレンス」等、地域の医療機関との研修会を開催する等、地域の医療機関との連携を積極的に推進し、地域の医療水準の向上に貢献したことも高く評価することができる。

これらの取組みが結実し、患者満足度は、「満足」と「ほぼ満足」を足した割合が88.2%と高い評価を得ることができたと判断し、A評価が妥当であるとしたものである。

次に「第3 財務内容の改善に関する事項」については、新病院建設関連の減価償却費の大幅な増加等による厳しい経営状況であったにも関わらず、積極的な入院患者の受け入れ等収益の確保に努め、過去最高の約73億9,100万円の医業収益を確保することができた。この結果、約1億6,200万円の単年度黒字となり、独法化以降4期連続して黒字経営を達成することができたことから、着実に収益力が向上し経営基盤が強化されていると判断し、A評価が妥当であるとしたものである。

なお、B評価とした「第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項」及び「第4 その他業務運営に関する重要事項」についても、「計画どおり」とはいえ、業務実績については十分評価に値する判断としたところである。

以上のことから、平成28事業年度の業務実績としての全体評価は、中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいると評価をしたものである。

II 大項目評価

【大項目の評価方法】

大項目評価は、小項目評価結果、各重点項目の達成状況並びに特記事項の記載内容等を考慮し、大項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について、次の5段階による評価を行う。

- S … 特筆すべき進捗状況にある（4.5以上5.0以下）
- A … 計画を上回って進んでいる（3.5以上4.4以下）
- B … 計画どおり進んでいる（2.5以上3.4以下）
- C … やや遅れている（1.5以上2.4以下）
- D … 重大な改善事項がある（1.0以上1.4以下）

各段階の評価は、大項目ごとの小項目評価の評点の平均点（少数点以下第2位四捨五入）で区分する。

評価結果

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

（1）評価結果と判断理由

小項目結果の平均点は3.52であり、また、以下のことを考慮し、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」に関する大項目評価は、A評価（計画を上回って進んでいる）が妥当と判断した。

評価委員会において、法人自己評価を変更した小項目は、以下の4点であった。

- ① 1－（1）急性期病院としての機能の充実 法人評価3を4とした。
- ② 1－（7）保健・介護・福祉との連携 法人評価3を4とした。
- ③ 3－（3）患者満足度の向上 法人評価3を4とした。
- ④ 3－（4）職員の接遇向上 法人評価3を4とした。

(2) 大項目評価にあたり考慮した主な事項・意見等

①急性期病院としての機能の充実 [1 - (1)]

救急搬送患者の受入増や病床稼働率の改善等、急性期病院としての役割を十分果たしており評価できる。今後は、後方連携の構築に向け、小山市近郊地域医療連携協議会における取り組みについて期待したい。

②救急医療の取組み [1 - (2)]

年間約3,800件の救急搬送患者数、及びそれに伴う年間約2,650件の救急入院患者数は、新小山市市民病院の規模から判断し、大いに評価できる。また、救急搬送患者の約半数を夜間に受け入れている点も評価に値する。

今後は、救急受入体制をどう維持すべきか、地域における新小山市市民病院の果たすべき役割を踏まえ、検討課題として頂きたい。

③4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）への対応 [1 - (3)]

4疾病とも実績を挙げており評価できる。特に、SCU（脳卒中ケアユニット）の施設基準の取得による脳卒中センターの機能の充実や、循環器疾患への対応は十分評価できる。

今後も、専門性を必要とする患者に対して、充実した医療が提供できるよう期待したい。

④小児・周産期医療の充実 [1 - (4)]

平日夜間における小児の救急受入体制を、夜間休日急患診療所の診療時間にあわせ午後10時まで拡充したことは、同診療所の運営に対し大いに貢献しており、評価することができる。

また、周産期医療の整備は、新小山市市民病院に限らず現実的には大変厳しい状況ではあるが、新小山市市民病院が理想とする完成形に至らずとも、市民の期待に応えるため、まずは一般の産科再開に向け引き続き産科医の確保に努めて頂きたい。

⑤災害時等における対応 [1 - (5)]

防災備蓄品の整備やドクターヘリ離発着体制の充実、災害時のライフライン運用の構築など、地域の中の基幹病院としての役割を意識し、体制の整備に努めて頂きたい。

また、BCP（事業継続計画）の策定にも努めて頂きたい。

⑥健診機能の充実 [1 - (6)]

企業とのドック契約の推進、レディースドックの開始など、受診者のニーズに応じた人間ドックの実施により受診者数が増加したことは評価できる。

また、常に顧客満足度が92%以上を得られたことも評価できる。

⑦保健・介護・福祉との連携 [1 - (7)]

退院支援加算1の取得要件を満たしたことは大いに評価できる。また、小山市

近郊地域医療連携協議会における取り組みについても評価できる。

⑧優秀な医療スタッフの確保 [2- (1)]

計画を下回ったものの、前年度より医師・看護師等の医療スタッフの確保が図られたことは評価できる。また、現場のニーズに応じて多職種の人材確保に努めたことも評価することができる。

⑨医療職等の専門性・医療技術の向上 [2- (2)]

看護師の特定行為研修等長期研修への積極的な参加等、医療スタッフの専門性・医療技術の向上に取り組んでおり評価することができる。

⑩患者中心の医療 [3- (1)]

「せん妄・認知症サポートチーム」(D S T) や、退院後の生活機能の向上を目的とした支援チーム (F S T) の発足など、患者を中心としたチーム医療への取り組みは評価できる。

今後も、医療が患者中心に行われることは当然であるとの認識のもと、常に患者との共通の理解を見出す努力を怠らないよう努めて頂きたい。

⑪利便性及び快適性の向上 [3- (2)]

紹介患者からの評判もよく、患者の声に良く対応していると評価できる。

⑫患者満足度の向上 [3- (3)]

計画を下回ったものの、患者満足度が、「満足」と「ほぼ満足」を足した割合が 88.2%であったことは評価できる。

⑬職員の接遇向上 [3- (4)]

患者のみならず、病診連携を図る医療機関に対しても、接遇が向上したと認められ評価できる。

今後は、患者家族への傾聴にも力点を置いて頂きたい。

⑭ボランティア制度の活用 [3- (5)]

計画を大きく上回るボランティア登録者数の増加は十分評価できる。今後は、企画運営の面で組織化が図れるよう期待したい。

⑮地域医療機関との連携 [4- (1)]

地域医療支援病院としての役割を果たすため、小山市近郊地域医療連携協議会を設立し、各医療機関との情報共有化を図っていることは大いに評価できる。

今後は、地域包括ケア体制の中での役割、位置付けに着目した取り組みにも期待したい。

⑯地域医療への貢献 [4- (2)]

患者ケアの連続性を重視した医療の提供に努めるとともに、計画を上回る地域医療機関との研修会、勉強会(ポットラックカンファレンス)等を開催しており、地域の医療水準の向上に貢献していると評価できる。

公的病院における地域医療への貢献とは、地域に不足する医療への貢献であるとの認識のもと、今後もそれを踏まえた活動を期待したい。

⑰積極的な情報発信 [4 - (3)]

様々な媒体を活用し各種事業の情報発信に努めるとともに、公開講座の実施等、同規模の公的病院と比較すると、積極的に取り組んでいるものと評価できる。

⑱医療安全対策等の徹底 [5 - (1)]

ヒヤリハットの報告件数が少ない医療機関が見受けられる中、多数の事例を検討し、計画を上回る報告を行っていることは評価できる。今後は、検証された事例を踏まえ、具体的にどう活用したのか確認したい。

⑲外部評価の活用 [5 - (2)]

平成27年に日本医療機能評価機構により認定を受けた病院機能評価を、新病院においても継承する等、外部機関による評価の活用に努め、業務改善に取り組んでおり評価できる。

【小項目評価の集計結果】

分野	評価 小項目数	[5]	[4]	[3]	[2]	[1]
		計画を大幅に上回って実施している	計画を上回って実施している	計画を順調に実施している	計画を十分に実施できていない	計画を大幅に下回っている
1 医療サービスの向上	7		5	2		
2 医療提供体制の整備	2			2		
3 患者・住民サービスの向上	5		3	2		
4 地域医療連携の強化	3		3			
5 信頼性の確保	4			4		
合計	21		11	10		

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

(1) 評価結果と判断理由

小項目結果の平均点は3.00であり、また以下のことを考慮し、「業務運営の改善及び効率化に関する事項」に関する大項目評価は、B評価（計画どおり進んでいる）が妥当と判断した。

なお、法人自己評価と評価委員会評価はすべて同じ評価だった。

(2) 大項目評価にあたり考慮した主な事項・意見等

①組織と運営管理体制の確立 [1 - (1)]

経営改革推進会議等、業務改善に向けた会議の開催や各種研修会の実施等、理事長自らが率先して取り組んでおり評価することができる。

また、継続的な医師の確保を図るため、早急に臨床研修病院として指定を受け、研修医を積極的に受け入れる体制を整備して頂きたい。

②事務経営部門の強化・事務経営部門職員の計画的採用 [1 - (2)・(3)]

事務経営に携わる職員の質の高さが伺え、十分評価できる。今後も今の水準を低下させることのないよう、安定的に人材を供給し続けることが重要である。

また、管理運営方針に基づく達成目標の明確化を図り、客観的で適切な評価基準を確立させておくことが大切である。ぜひ検討して頂きたい。

③意欲を引き出す人事給与制度の構築 [2 - (1)]

科別の業績評価も含め、医師の能力評価に着手したことは評価できる。

④働きやすい職場環境の整備 [2 - (3)]

職場環境の整備について、公的病院が範を示すことの意義は非常に大きい。特に、ワーク・ライフ・バランスを推進することは、女性医師や看護師を確保できる環境にもつながるため、更なる推進を期待したい。

【小項目評価の集計結果】

分野	評価 小項目数	[5]	[4]	[3]	[2]	[1]
		計画を大幅に上回って実施している	計画を上回って実施している	計画を順調に実施している	計画を十分に実施できていない	計画を大幅に下回っている
1 業務運営体制の構築	3			3		
2 魅力ある病院づくり	3			3		
合計	6			6		

第3 財務内容の改善に関する事項

(1) 評価結果と判断理由

小項目結果の平均点は4.00であり、また以下のことを考慮し、「財務内容の改善に関する事項」に関する大項目評価は、A評価(計画を上回って進んでいる)が妥当と判断した。

なお、法人自己評価と評価委員会評価はすべて同じ評価だった。

(2) 大項目評価にあたり考慮した主な事項・意見等

①経営基盤の強化 [1]

新病院建設関連の減価償却費の大幅な増加等により厳しい経営状況であったに

も関わらず、経常収支比率及び医業収支比率とも計画を大きく上回り、4期連続して黒字経営を達成したことは大いに評価できる。

今後は、安定した経営を維持するため、常時15～20億円の手元資金を確保できるよう努めるとともに、内部留保を積み重ね、流動比率200%、自己資本比率20%を達成できるよう取り組んで頂きたい。

②収益の確保 [2-(1)]

積極的な入院患者の受け入れや連携病院への円滑な転院等により、入院患者数及び入院診療単価とも前年度実績を大きく上回り、2年連続で大幅な医業収益の増加を達成できたことは評価できる。

③費用の節減 [2-(2)]

計画を下回った指標は見られるものの、費用節減に向けた努力は評価できる。

【小項目評価の集計結果】

分野	評価 小項目数	[5]	[4]	[3]	[2]	[1]
		計画を大幅に上回って実施している	計画を上回って実施している	計画を順調に実施している	計画を十分に実施できていない	計画を大幅に下回っている
1 経営基盤の強化	1		1			
2 収益の確保と費用の節減	2		2			
合計	3		3			

第4 その他業務運営に関する重要事項

(1) 評価結果と判断理由

小項目結果の平均点は3.00であり、また以下のことを考慮し、「その他業務運営に関する重要事項」に関する大項目評価は、B評価(計画どおり進んでいる)が妥当と判断した。

なお、法人自己評価と評価委員会評価は同じ評価だった。

(2) 大項目評価にあたり考慮した事項・意見等

①新病院建設に向けた取組み(新病院移転後の病院運営に対する取組)

多くの公的医療機関が、建て替え後は財務運営が厳しくなる場合が多いにもかかわらず、新築を成功させた上に、院内ソフト及び財務両面において充実が図られていることは評価することができる。

【小項目評価の集計結果】

分野	評価	[5] 計画を大幅に上回って実施している	[4] 計画を上回って実施している	[3] 計画を順調に実施している	[2] 計画を十分に実施できていない	[1] 計画を大幅に下回っている
	小項目数					
新病院建設に向けた取組み	1			1		
合計	1			1		

Ⅲ その他 全体的な意見

救急搬送患者の受入数の増加や、近隣13病院との地域医療連携協議会の発足など、急性期を担う地域の中核病院として十分相応しい実績を残しており、一層の医療サービスの質の充実・向上が図られた。職員の接遇も向上し、患者はもちろん医療関係者からの評価も非常に高く、地域の医療機関との紹介・逆紹介も定着しつつある。

経営的にも改善の成果が見られ、安定的に運営を行っていることが伺えるなど、ソフト・経営両面でここまでの実績を残せたことは、独法の特徴を活かし、公的病院と民間病院のそれぞれのメリットを上手く適合させているものと判断でき、理事長の強いリーダーシップのもと、事務局も含め全職員が一致団結し努力した結果であったと評価したい。

今後も、患者中心の視点を忘れることなく、人材の確保に努めつつ、長く地域の医療を支えていけるよう努力して頂きたい。